



TAKE  
FREE

# HOPE

ほーぷ

太田記念病院だより

vol.52

2018.11

## 安心・安全な医療を提供するために ～当院の取り組みについて～



ごあいさつ

かかりつけ医・登録医ご紹介  
岩崎医院

診療科紹介 耳鼻咽喉科

### 予防しようサルコペニア!

もしも身近な人が  
認知症と診断されたら

●理念

思いやりの心で行う医療

●基本方針

1.患者様の人格と権利を尊重し、何よりも安全を重視した医療を提供します。

2.常に医療の質の向上を目指し、救急医療の充実に努めて地域の医療に貢献します。

3.病病・病診連携を推進し、患者様がより良い医療を受けられるように努力いたします。

4.健康保険組合の一員として、地域住民の保健や福祉にも貢献し、信頼関係を深めるように努めます。

●患者様の権利

1.安全な質の高い医療を  
平等に受ける権利

患者様はいかなる宗教・国籍・社会的地位などにかかわらず、安全で良質な医療をどなたでも平等に受けることができます。

2.個人の尊厳とプライバシーが  
保たれる権利

患者様は人間として尊厳を保たれ、個人の情報が堅く守られながら医療を受けることができます。

3.個人の医療情報・開示が  
得られる権利

患者様は病気・治療・検査等の内容についてわかりやすい言葉で納得のいく説明を受け、診療の記録についての情報開示を受けることができます。

4.医療行為の選択を自ら決定する権利

患者様は十分な説明を受けたうえで、ご自分の意思により治療・検査・その他の医療行為を選択・拒否することができます。

5.医療行為について

苦情や意見を述べる権利

患者様は病院に対しての苦情や意見を自由に述べるすることができます。また、それにより患者様が不利益を受けることは一切ありません。



## 「3か年中期経営企画」「ステップアップ」について ー 上半期の振り返りと下半期の取り組み ー

太田記念病院

副院長兼患者支援センター センター長

小林 延行

### ●紹介機関、後方連携機関との 関係強化について

本年は、平成28年度に開始となった「3か年中期経営企画」の最終年となります。ここでは、この企画の課題の一つである“紹介機関、後方連携機関との関係強化”について、本年度の上半期を振り返り、述べてさせていただきます。

“紹介機関、後方連携機関との関係強化”は救急医療、高度な医療を行う上で大変重要であり、これまでも病院の方針として進めてきました。上半期を振り返ってみると、紹介機関との関係の指標である紹介数（他院からの紹介数）は、目標を達成できておりますが、後方連携機関との関係の指標である逆紹介数（当院から他院への紹介数）は、目標未達の状況です。また、全国的には転院数が月平均108名、転院までの平均在院日数は25日であり、これに対し当院は前者が93名と低く、後者が33日と長い値でした。これらの結果をふまえて、今後の取り組みとして、逆紹介を推進するための地域連携課の介入強化、医療社会福祉士（MSW）の病棟配置の再考、増員や必要に応じた太田地区以外の連携病院の増院等を行っているところであります。

### ●再診時の選定療養費の変更と 診療時間の変更

当院は厚労省から、これまでDPC標準病院群とされていましたが、本年度からは診療密度の高い、高度な医療を行っている特定病院群、いわゆる大学病院に次ぐ病院として認定されました。当院の役割がより明確になってきているものと考えますが、厚労省が推進する各病院の役割分担の一つとして、本年4月より義務づけられた“再診時の選定療養費の変更”を行わせて頂きました。再診時の選定療養費とは、病状が安定し、当院での外来診療の必要がなくなった場合に、その後の外来診療を希望で受ける時に費用が発生する制度です。また、高度な医療をより円滑に行うという視点から、10月より初診外来の受付時間の変更をさせて頂きました。（平日も11時までに変更）

今後も当院の役割である、救急医療、高度な医療をより多くの患者様に提供できるよう、尽力していきたいと考えております。引き続き、ご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

PICKUP CLINIC  
file.25



かかりつけ医・登録医ご紹介

## 岩崎医院

いわさき たくじ  
院長 岩崎卓爾



診療科:産婦人科  
住 所:太田市新井町206  
電 話:0276-45-5818  
診療時間:  
(午前) 9:00~12:00  
(午後)14:00~18:00  
休診:祝祭日  
※水曜日午後は手術のため  
休診になることもあります。

安心して出産や治療に集中していただけるよう  
心がけています

- **開院のきっかけ:** 昭和37年、私が4才の時に父がこの地に開業しました。私は1999年6月よりここで働いています。その前は日本医科大学で働いていました。地元の太田市で父の後を継ぎ、現在にいたります。
- **特徴:** 専門とする疾患領域は妊娠・出産、更年期治療、不妊治療、子宮がん検診になります。ハイリスクな分娩になった場合は専門的な医療機関を紹介させていただきます。

建物は3年前に改築致しました。

- **心がけていること:** 患者様のお話を良く聞き、分かりやすく説明できるように心がけています。また当院は温かみのある、人にやさしい医療の提供を目指しています。スタッフは、患者さん1人ひとりの不安や悩みに真摯に向き合うとともに、安心して出産や治療に集中していただけるよう、笑顔を決やさぬよう心がけております。

- **今後の目標:** 患者様のニーズに応え続けていきたいと思えます。当院は今後も地域に密着した「かかりつけ医」として、皆さまの出産と健康をお守りするべく全力を尽くしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



## 診療科紹介 耳鼻咽喉科

てい まさよし  
鄭 雅誠  
さいとう しょうた  
斎藤 翔太



※画面に映っておりますのは鄭医師の鼓膜所見です

機能回復、症状緩和に向けて毎日外来診療をしておりますので、  
耳鼻咽喉科疾患でお困りの際にはお気軽にご相談ください。

耳鼻咽喉科は多くの感覚器官を含む領域であり、また近年は「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と称されることも多く、その名の通り耳・鼻・咽喉頭・頭頸部に大きく領域が分かります。

**耳科**は難聴や耳だれに対する精査治療が多く、顕微鏡下や内視鏡下での手術も行っております。また、聴力検査に基づく身体障害者申請や、近隣の補聴器店と連携した難聴治療も行っております。

**鼻科**は鼻水、鼻詰まり、匂いが分からないなど、アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎(蓄膿症)に対しての内服点鼻治療や、難治性の場合には内視鏡下手術も多く実施しております。

**咽喉頭科**は口の中、のど、その先の声帯を含めた領域であり、耳鼻咽喉科の中でも様々な症状が出やすい部分です。内視鏡や各種画像撮影による検査と、その治療を行っております。

**頭頸科**は脳や目から下の頭と、鎖骨から上の首にできる腫瘍(しこり)の精査加療が主となります。当院での治療が難しい場合には群馬県立がんセンターや群馬大学、獨協医科大学なども連携しております。

耳鼻咽喉科医は耳鼻咽喉科疾患全般に加えて多くはこのような専門領域を持つため、当院では2名の常勤医師に加えて7名の非常勤医師がおり、専門的な診療が可能です。



# 安心・安全な医療を 提供するために

～ 当院の取り組みについて～



医療安全管理者・医療安全課長  
いわさわ

岩澤とみ子

## 医療安全管理とは どのような事ですか

「患者様の安全の確保」だと思っています。様々な部署との連携や協働で、病院全般に関わる医療安全対策の周知や実行、評価を含めて組織を横断的に活動していくところであり、これが日常的な活動です。医療安全を確保するというのは患者様の安全の確保なのだと思います。

## 当院に医療安全管理部が 設置されたのはいつですか

院内では2000年3月に第1回目の医療安全委員会が開催され、その後2006年4月に医療安全管理室が設置され、医療安全管理者と感染管理認定看護師が専従する体制をとりはじめました。

設置のきっかけは、1999年に患者様を取り違えて手術するという事件があり、その一ヶ月後に誤って消毒薬を血管内に注入されて患者様が亡くなるという事件がありました。その後も呼吸器の事故など様々な事があり、ヒューマンエラーは起こり得るものとして組織的な対策をしていかなければいけない、という国の医療安全施策の経緯があって、どこの病院でも取り組みが始まり、当院でもそれに伴った院内体制を敷いてきました。

## 当院の体制について教えてください

医療安全体制の充実のために、2016年度より医療安全管理部長を配置するとともに、2017年より事務専従

の担当部長を追加配置し、医療安全への取り組み強化に努めています。

医療安全管理の主力メンバーは、医療安全管理部長2名(救急科主任部長:兼任,事務担当部長:専従)、看護部副部長1名(医療安全管理者:専従)、医薬品安全管理者1名(薬剤部部長兼感染対策課課長:兼務)、医療機器安全管理者1名(臨床工学部課長代理:兼務)、感染管理認定看護師1名(専従)で構成しています。

各部署の責任者が毎週集まり、1週間に起こった重大な**インシデント**\*1や**アクシデント**\*2事例に関する情報共有や、各部門で解決困難な事案について検討を行っています。

問題解決に至らない事案や院内全体への発信・周知に至る内容は、月1回の医療安全委員会で審議・報告を行っています。また、医師に協力を得る問題に対しては、診療部長会議や医局会にて、医療安全管理部部長から報告と協力依頼を行っています。

## どのようなインシデント・ アクシデントがありますか

インシデント報告は月に120件程度あります。薬剤に関するインシデントが全体の30%と一番多く、次に多いのは療養上の世話に関するものとなっています。療養上のインシデントの中では、転倒・転落件数が多く、全体の15%を占めています。当院は75歳以上の入院患者様が全体の40%を占めている状況であり、

入院治療に伴う侵襲や、医療機器の装着・環境の変化などによる混乱から、せん妄等により発生しているものもあります。例えば、ベッドからの転落や転倒による骨折などをみると、患者様は“自分の身の回りのことは自身で行いたい”と考え、行動しているためです。これくらいなら自分でどうにかできるという思いや、医療者に対する配慮から、一人で歩行され転倒、骨折してしまったアクシデント事例もあります。

また、薬剤に関しては、病気が改善し内服終了の指示があったのに飲ませてしまったり、検査のために一時的に中止しなければならない薬剤を中止し忘れてしまったりと、薬の管理が十分に行えず患者様に迷惑をかけてしまった事例もあります。私も外観が類似している薬剤の取り違いをしてしまい、他の看護師の指摘で気づいたことがありました。これは、思い込みと確認不足から生じた間違いです。エラーを防止するためには、個人及びシステムによるエラーチェック機能を強化していくことが重要となります。防御システムを活用し、予防を主眼としたシステムの安全性の向上を図っていくことが必要です。方策として、エラーを誘発しない環境や、起ったエラーを吸収して事故を未然に防ぐことができるシステムを組織全体として整備する努力をして行く必要があります。

安全な医療の推進には患者様の協力が不可欠です。自分が受けている医療の内容を十分に把握していただき、エラー



病棟でもインシデントノートなどを活用して「こんな事があったよ。気をつけよう。」と、患者様にとって有害事象となるような事故を防止できるように、各部署で啓発しています。



職員向け啓蒙教育

のない正しい医療行為が行われるよう、職員とともに確認作業などに参加していただければと思います。

### この仕事のどのようなところにやりがいを感じますか

職員が医療安全の取り組みに興味を持ってくれたときですね。今までインシデント報告の提出がなかった部署から報告書があがってきたり、医師から「こんな事があったけれど、どうなの？」と相談されたりすることです。医療安全管理は報告書をもとに危険箇所を伝え、原因を分析し改善への取り組みを提案する部署ですので、現場の状況を伝えてもらえないと機能しません。現場とのやり取りができ、介入させてもらえることは私にとってのやりがいに繋がります。また、グッドジョブ報告(好事例報告)があがってきたときですね。これはチームでエラーを防いだ好事例を報告してもらい、どのような状況下でインシデントの未然防止が図れたのかを分析し紹介する取り組みです。

各個人が安全意識を持ち、患者安全を考え取り組んだ成果が未然防止に繋

がっていると思います。ですから、このような報告がたくさんあがってくることは医療安全管理者として大変嬉しく、安全な医療の提供の証であると思っています。

それから、スタッフが安全教育を通して成長してくれることですね。安全委員になり、職場の安全や患者様の安全を考える中で、初めは委員としてどのように活動すべきか自問自答すると思いますが、報告書をもとに原因分析や対策について考え行動することで、患者様の安全を意識した指導や職員への思いやりに繋がるアドバイスができるようになっていきます。そのような姿を目の当たりにしたときに、すごく嬉しかったりしますね。私は2013年から医療安全管理の仕事に携わっていて、初めは自身で月1回程度行う啓蒙教育の内容等を考えていましたが、今ではプロジェクトチームの委員たちが考え、行動できるまでに成長しています。

### 今後の抱負を教えてください

“相談できる部署であり続けること。”医療安全管理部はそのような組織でありたいなと思っています。

現在も、医療安全管理部には1日何十人かの職員が訪れてくれます。それはインシデント報告や事例分析の相談、患者様やご家族からのからの相談への対応、マニュアルの内容確認だったりします。先にも述べましたが、医療安全管理部は報告書をもとに活動を行なっている部署ですので、多くの職員と意見交換をしながら、患者様への安全な医療が提

供できるような取り組みを推進して行きたいと考えています。

また、患者安全への取り組み強化としてRRS(Rapid Response System:院内救急対応システム)という、患者様の病態変化時に対処できるような体制整備の構築をしています。現在、病院全体への周知を行い、来年4月からの運用を目指しています。

今後も当院の診療理念である「思いやりの心で行う医療」を念頭に、何よりも安全を重視した医療の提供を心がけて行きたいと思っています。



### 用語の定義

#### ※1 インシデント

インシデントとは通常、日常診療の場で、誤った医療行為などが患者に実施される前に発見されたもの、あるいは、誤った医療行為などが実施されたが、結果として患者に影響を及ぼすにいたらなかったものをいう。この同義語として「ヒヤリ・ハット」を用いる。

#### ※2 アクシデント

アクシデントとは通常、医療事故に相当する用語として用いる。医療事故とは、医療に関わる場所で医療の全過程において発生する人身事故一切を指し、患者についてだけではなく、医療従事者が被害者である場合や廊下で転倒した場合なども含む。この同義語として「事故」を用いる。つまり、医療事故には、医療の内容に問題があって起った過失による事故と、医療の内容に問題がないにもかかわらず起った過失のない、不可抗力による事故の両方が含まれる。

●栄養部通信

食事を変えてカラダ改善

管理栄養士  
とくなが みき  
徳永 美希

いつまでも元気でいきいき!

# 予防しよう サルコペニア!

## サルコペニアって知っていますか?

サルコペニアとはギリシア語で筋肉(サルコ)と減少(ペニア)を組み合わせた言葉で、加齢に伴い筋肉量が減少し、筋力や身体機能が低下している状態を言います。

高齢者においては運動量の減少や食事量の減少、特に良質のタンパク質(アミノ酸)摂取量の減少により、筋肉の合成と分解のバランスが崩れ、筋肉が減少する傾向が表れます。



サルコペニアかどうか  
チェックしてみましょう

- 指の太さを測って  
ふくらはぎの太さを見てみましょう



- BMIを計算しましょう

BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

例) 50kgで身長160cmの場合

$50\text{kg} \div 1.6\text{m} \div 1.6\text{m} = \text{約}19.5$

BMI18.5～25は標準、18.5未満は痩せ、  
25以上は肥満

BMI18.5未満はサルコペニアの可能性あり!

- 握力をはかってみましょう

男性:26kg以下、女性:18kg以下は要注意

## サルコペニア予防

### ～運動編～

- ◎座っている時間は減らし、日常的に動くようにする  
体操・ストレッチ・ウォーキング・水泳などの有酸素運動を習慣化しましょう。
- ◎少しきだけつい運動をする  
早歩きをしたり、階段の上り下りをしてみましょう。
- ◎筋トレをする  
スクワットや腹筋背筋などを取り入れてみましょう。  
※運動制限などがある場合は医師に相談してから始めましょう。

### ～食事編～

- ◎栄養バランスの良い食事を心掛ける  
うどんやパンのみの食事では必要な栄養が取れません。主食(ごはん・パン・麺)+主菜(肉・魚・卵・大豆製品)+副菜(野菜・海藻・キノコ)の3つをそろえた食事にしましょう。
- ◎加工されていない良質のたんぱく質をとる  
良い筋肉を作るには必須アミノ酸のうちBCAA(バリン・ロイシン・イソロイシン)をしっかり摂取するといわれています、BCAAを多く含む食品(卵・肉・魚・大豆製品など)を1食1種類を心掛けてとるようにしましょう。



# もしも身近な人が 認知症と診断されたら

認知症看護認定看護師  
認知症ケアチーム  
新井清乃

## 認知症とは・・・

「認知症ってなに?」と聞かれたら、どのように答えますか?「みんな忘れちゃう」「徘徊して危ない」「大きな声を出して大変」こうした答えは認知症の人が示す症状を表しているだけで正解ではありません。認知症とは、脳の働きが徐々に悪くなり、数分前のことを思い出せない・新しいことを覚えられない・日にちがわからない・今までできていたことができなくなる。このようなことにより、日常生活や社会生活を上手く送れなくなった状態です。

### 認知症の人への ケアのポイント

認知症の人は症状が進んでいくと、生活の中で以前のように上手くできない場面が多くなります。こうしたなかで家族から注意されたり、叱りつけられたりすると「注意された」「叱られた」という嫌な感情だけが残ってしまいます。そして、不安や心配によりイライラしたり、不機嫌になったり、行動が消極的になってしまいます。家族や、周りの人にとって大切なことは認知症がどんな病気かを知り、本人の気持ちに寄り添った対応を心がけることです。

#### ポイント

- 本人のペースに合わせましょう
- 本人の思いを理解しましょう
- 安心できる環境を作りましょう
- 共に共感して受け入れましょう

#### 相談窓口・支援機関

- まずは、かかりつけのお医者さんへ
- 物忘れ外来など認知症専門の医療機関へ
- 病院に受診するのは敷居が高い  
⇒地域の「**地域包括支援センター**」へ

かかえこまずに  
気軽に相談を

#### 地域包括支援センターとは?

高齢者の方が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送り続けるために支援する相談センターで、太田市を9つの地区に分け、新野町に1か所と地域別に9か所設置しています。

### 太田記念病院ではこのような 取り組みを行っています

太田記念病院は急性期病院という役割に応じた質の高い医療サービスの提供と安心した療養生活を送れることができるよう認知症の方をケアチームでサポートしています。認知症ケアチーム(別名:高齢者みまもりたい)のメンバーは、脳神経内科医師・脳神経外科医師・看護師・作業療法士・薬剤師・栄養士・社会福祉士といった複数の職種のスタッフです。

#### ●ケアチームラウンド

毎週水曜日に認知症の回診を行っています。

#### ●病院内外で勉強会を開催

認知症についての理解を深めるためメンバーが勉強会を行っています。



### 認知症チェックリスト 13項目の中で3つ当てはまったら要注意!

- 同じことを言ったり聞いたりする
- 物の名前が出てこなくなった
- 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
- 以前はあった関心や興味が失われた
- だらしがなくなった
- 日課をしなくなった
- 時間や場所の間隔が不確かになった
- 慣れたところで道に迷うようになった
- 財布などを盗まれたという
- 些細なことで怒りっぽくなった
- 蛇口・ガス栓の閉め忘れ、火の用心ができなくなった
- 複雑なテレビドラマが理解できない
- 夜中に急に突然起き出して騒いだ

## 新任医師のご紹介 新しく着任いたしました。



整形外科  
ちよう てつもと  
張 哲源  
H30年10月1日入職



形成外科  
う の たかひろ  
宇野 貴博  
H30年10月1日入職



泌尿器科  
みずたにとしひで  
水谷 年秀  
H30年10月1日入職

## 太田市総合防災訓練に参加しました

### 大地震に備えて

8月25日にベイシアおおたモール店駐車場で実施された太田市総合防災訓練に当院DMAT隊が参加しました。

太田市において震度6強の地震が発生し、多数傷病者が発生した際のトリアージ及び搬送先病院の選定を行う訓練を行いました。

先日群馬県内でも震度5弱の地震が発生しました。いつ更なる大きな地震が発生するかもわかりません。万が一に備える準備は今後も続けていきたいと思えます。



## 敬老の日イベント

### ●9月18日(火)

平成30年9月18日に敬老の日イベントを実施致しました。今年度は落語家の林家鉄平氏にお越し頂き、落語を披露して頂きました。およそ80名の方にご参加頂き沢山の笑顔溢れる会になりました。



## リレーフォーライフジャパンぐんま2018に参加

### がん征圧への願いを込めて!

当イベントはがん患者や家族、その支援者らが公園やグラウンドを会場に交代で24時間にわたって歩き、がん征圧への願いを新たに絆を深め合う寄付イベントです。

当院からは、125名の職員が参加し、バトンをつなぎ24時間のリレーを行いました。

### 毎年大好評の

## ふれあいフェア2018開催します!

### ●11月10日(土) 皆さまのご来場をお待ちしています。

例年多くの方にご参加頂き、昨年は700名近い方にご参加頂きました。太田記念病院がお送りする年に1度の大会イベントとなっております!

今年は市立太田高等学校の吹奏楽部の皆様によるオープニングイベントから始まり、様々な医療に関する体験コーナーや展示・相談、講演会等を実施します。

また野外会場では消防車・救急車の展示、スバル車展示、各種模擬店の出店もあります。ぐんまちゃんのふわふわドームはお子さまに大人気です。

イベントの詳細はホームページ等で公開しています。どなたでもご参加頂ける、楽しいイベントとなっておりますので、皆さまのご来場をお待ちしています。



※前号HOPE51号にて11月11日(土)とご案内してしまいましたが、正しくは11月10日(土)となります。お詫びして訂正いたします。

SUBARU健康保険組合  
**太田記念病院**

TEL.0276-55-2200(代)

電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。

〒373-8585 群馬県太田市大島町455番地1

太田市平日夜間  
急病診療所はこちら

TEL.0276-60-3099

太田市飯町818 太田市保健センター1階  
診療日：月・火・水・木・金・土  
※日・祝日・年末年始は休診となります  
受付時間：午後6時45分～午後9時45分

太田記念

検索

ホームページアドレス  
http://www.ota-hosp.or.jp



太田記念 FB

検索

フェイスブックアドレス  
https://www.facebook.com/otahosp

